

海外安全官民協力会議 第三回幹事会開催結果（概要版）

1．日時及び場所 平成16年1月30日 外務省南庁舎396会議室

2．出席者 幹事会メンバー 19名（4名欠席）
外務省 領事移住部政策課長、邦人保護課長、邦人特別対策室長他

3．議事要旨

議題1 鳥インフルエンザについて

領事移住部政策課長より、各国における鳥インフルエンザの発生状況、情報発信をはじめとした外務省の取り組み状況について説明を行い、参加メンバーとの質疑応答、意見交換を行った。

海外進出企業からは、現地工場の食堂における取り組み、本邦の買い付け者に対する情報提供の必要性等についてのコメントがあった。また、旅行業界からは、発生国への旅行に関し注意している点や問題点について報告があった。

外務省からは、今後入手した情報はできる限り迅速に提供する旨説明した。

議題2 渡航情報の活用方策

外務省より、平成14年4月に制度の見直しを実施した「渡航情報」について、渡航情報見直しの趣旨、制度の概要、参考情報としての位置づけ、世論調査に基づく利用者のニーズ等について説明し、参加メンバーと外務省により、利用者の視点に立った評価、今後の改善点等について意見交換を実施した。

（参加メンバーの主な意見）

危険情報について

- ・読みやすさを考えて、もっとシンプルな内容にすべき。
- ・細かい地域分けは見直すべき。
- ・主催旅行の自粛の行政指導がなくなったことについては、各社が責任を持って主催旅行を行えるようになったという点で評価している。
- ・危険情報のタイトルのみでは、更新情報がわかりづらい。上げ下げがあったのか、継続なのかタイトル一目で状況がわかるよう工夫すべき。
- ・危険度が同じであっても、状況が変われば、本文の内容を随時更新すべき。

- ・一般旅行者と企業関係者との注意事項の違いをさらに明確に示すべき。

その他の渡航情報について

- ・危険情報のみならず安全対策基礎データやテロ概要も駐在員の安全対策に有用なものであり、積極的に活用している。ホームページ上の見せ方をもっと工夫すべき。

上記意見を踏まえ、今後さらなる「使いやすさ」「わかりやすさ」を目指した渡航情報コンテンツ、及び海外安全ホームページの改善について検討していくこととした。

議題3 今後検討すべき政策課題の具体的進め方

先般の本会合で決定した「国民への情報提供・広報・啓発活動」、「緊急事態における安否確認システムの構築」、「緊急事態における邦人のメンタル・ケア」、「テロ、誘拐、脅迫事件に関する安全対策」他、計6つの政策課題について、今後の効果的な進め方について議論した。

結果、各議題について、まずは幹事会全員で基礎的な勉強会、意見交換会を行い、その結果、継続して議論を行うことが必要かつ効果的なものにつき、分科会方式の導入も含め、掘り下げた検討を行うこととし、メンバー全員の同意を得た。

以上